

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 234

R3. 7月号

かぞくぶっくぱっくの中身が新しくなりました！

かぞくぶっくぱっくの入れ替えを行いました。

司書がおすすめする本を、さまざまなテーマで数冊詰め合わせた本の福袋です。

何が入っているかは借りてからの楽しみ♪



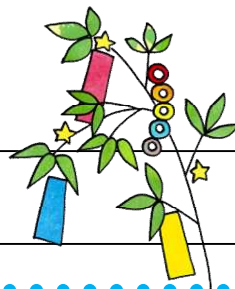
夏のフックフェア いろんな『怖い』あつめました！

本当に怖いのは妖怪、幽霊、それとも人間…？

老若男女みんなで楽しめる『怖い』を集めて展示します。

期間 令和3年7月20日（火）～8月15日（日）

場所 新屋図書館・本館渡り廊下



7月のおはなし会

7月3日（土）14:00～14:20

たなばた おはなし会

～絵本・七夕飾りの紹介～

研修室（幼児・小学生～）



7月13日（火）10:30～10:50

おいしいね

～絵本・紙芝居～

研修室（赤ちゃん～）



新 刊 案 内

オードリー・タン 日本人のためのデジタル未来学

早川 友久／著

ビジネス社 請求記号 007.3 (情報政策)

日本でも話題の台湾の若き政治家、オードリー・タン。「デジタルが得意な人と不得手な人との間に社会格差を起こさない」「高齢層と若年層を分断しない」「スピード感と柔軟な方向転換」「失敗のシェア」「自分と異なる意見こそ聴く」などなど学びの多い内容です。



大学で学ぶ 東北の歴史

東北学院大学文学部歴史学科／編

吉川弘文館 請求記号 212 (東北地方の歴史)

東北地方の古代から東日本大震災復興を含めた現代までを、通史的観点からまとめた本です。同大学でテキストとして用いられているものなので、東北の歴史を分かりやすく理解するためには絶好の一冊となるでしょう。



魚の水（ニョクマム）はおいしい 食と酒エッセイ傑作選

開高 健／著

河出書房新社 請求記号 596.04 (食事)

20代から40代の著者が実際に味わった世界中の食と酒について綴っています。食事と人は切っても切り離せない関係だからこそ、食事の話はこんなにも愉快で切ない。ウィスキー党の著者が答えるウィスキー相談室も開設。どうぞ併せてご堪能ください。



もぐらどろぼう

桂 文我／ぶん ささめや ゆき／え

BL出版 請求記号 Eサ (絵本) ※小学1年生ころから

敷居の下に掘った穴から手を入れて、戸のカギを外そうとしている一人のだろぼう。ところが店の主人に見つかり、手を柱にくくられてしまってさあ大変！何とかひもを外してくれるようお願いしますが…。楽しい落語の絵本です。



図書館員（伊藤 一）のおすすめ本

書 名	大人も子どもも一生役立つ パンダでおぼえることわざ 慣用句
著 者 名	福田 豊文／写真 今泉 忠明／監修
出 版 社	学研プラス
所 蔵	新屋、明德、土崎、イソップ 請求記号 81 （言語）



ことわざや慣用句は、昔の人たちが生活の中で気付いた知恵や教訓などをことばにしたものですが、近頃だんだん馴染みが薄くなってきているように思います。小学校の国語の教科書にも出てくるのですが、ことばだけを覚えようとすると、なかなか覚えられないばかりか、却って抵抗感が増して「難しいことば」と受け取られがちです。この本には、可愛らしいパンダの

仕草や様子と一緒に、ことわざや慣用句がたくさん載っています。

例えば「我を忘れ」てささの葉を食べるパンダの姿…何とも微笑ましく、ことばの意味がすっと入ってきます。パンダ好きでなくとも、きっと引き込まれること間違いなし。「ことわざ・慣用句」のほかに「四字熟語」版もあって、こちらもおすすめです。

図書館員（石井 さやか）のおすすめ本

書 名	思考中毒になる！
著 者 名	齋藤 孝／著
出 版 社	幻冬舎
所 蔵	土崎 請求記号 141.5 （思考）



タイトルにある「思考中毒」の人とは、「考えずにはいられない」人を指します。どうしたら楽しくなるかとか、どうすれば相手が喜んでくれるかなど、常に何かをより良くすることを生み出している人たちです。

思考中毒になれば、誰かに強制されなくてもどんどんアイデアが生まれてきたり、日常を面白がりながら毎日を送れたり、わくわくした

気持ちで仕事もプライベートな時間も過ごすことができるようになります。とても魅力的な中毒ですね。

本書では考え続ける習慣をつけるのに手書きで記録することをおすすめしています。脳科学の分野では認知症になりにくいという報告もあるそうです。昨晚見た夢を記録するだけでも行動のクオリティが上がるみたいです。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・復刻「國光正宗」・・・

昔のお酒はどんな味だったんだろう？…と、時代劇を見たり、時代小説を読んだりして想像したことはありませんか？

岩手県の旧家で江戸時代の酒造りの秘伝書が発見され、それを基に当時のお酒を再現しようというプロジェクトが始まったそうです。南部美人の蔵で4月から仕込みを開始。明治期から使われている酒米“亀の尾”を使用した復刻酒「國光正宗（こっこうまさむね）」は、江戸時代とほぼ同じ製法で造られ、通常のお酒よりも濃い味わいとのこと。いつか飲んでみたいものです。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

日本経済新聞
2021年5月11日

今、あなたへ…厳しい暑さを乗り越える…



昼はじりじりと太陽が照りつけ、夜になってもなかなか気温は下らず、寝ても起きてても汗をかきっぱなし…ということも少なくない時期になってきました。外出時にはマスクが必須な昨今、夏の暑さは困りものです。

消防庁の統計によると、昨年6月から9月までのあいだに熱中症で緊急搬送された人の数は、全国で6万4,869人にのぼり、年齢別に見ると高齢者の割合が多かったそうです。

「屋内だから大丈夫」「ちょっと疲れただけだから…」と油断していると、命の危機にもつながる熱中症。『熱中症対策マニュアル』（エクスナレッジ）『「脱水症」と「経口補水液」のすべてがわかる本』（日本医療企画）で正しい知識を身につけ、ムリをせず、安全に、夏を乗り切りましょう！

図書館員のひとりごと

昨年日本でもブームになった韓国ドラマに魅了され、すっかり韓国のトリコになってしまいました。ドラマや映画はもちろん、音楽、食べ物、お酒もほぼ全て大好物になり日々の生活に欠かせない状態に。

辛いラーメンと韓国チキンを食べながらドラマを一気見して出演している俳優が他にどんな作品に出ているのか調べてまた別のドラマを見る。幸せです。最近は近所のスーパーにも韓国コーナーが出来てさらに幸せです。

まさか自分がこんなにハマるなんて…。あと数年（多分）この韓国沼からは抜け出せそうにはありません。
(三浦)

仕事を終え帰宅し、食事や入浴、翌日の準備、諸々を済ませた私の楽しみは数独。

数独とは3×3のブロックに区切られた9×9の正方形の枠内に1～9までの数字を当てはめていくパズルのこと。新聞や週刊誌などにも掲載されていることもあります。単純なルールなのですが難易度の高いものはなかなか時間がかかり、没頭していると1時間近くかかってしまうことも…。

つい夢中になりすぎて就寝予定時刻を過ぎてしまいがちですが、「頭の体操にもなっているから！」と自分を正当化し今日も夜が更けていきます。
(鈴木)